

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2006-25012(P2006-25012A)

【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-004

【出願番号】特願2004-199350(P2004-199350)

【国際特許分類】

H 04 N 5/235 (2006.01)

G 03 B 7/095 (2006.01)

G 03 B 7/28 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/235

G 03 B 7/095

G 03 B 7/28

H 04 N 5/225 B

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月5日(2007.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を撮像し、撮像した画像を出力する撮像手段と、

前記被写体の輝度を測定する測光手段と、

露出補正量を設定する露出補正手段と、

前記撮像手段により得られた画像の輝度値が目標値になるように制御する露出制御手段と、

前記撮像手段により得られた画像を予め定められた間隔で表示更新する表示手段とを有し、

前記測光手段により、前記被写体の輝度を測定する時には、前記露出補正手段により設定した露出補正の設定を解除し、前記表示手段による表示更新を停止することを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記露出制御手段は、前記露出補正手段により設定した露出補正の設定が解除されている時に、目標値を設定し、前記撮像手段により得られた画像の輝度値が該目標値になるように制御することを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

被写体を撮像し、撮像した画像を出力する撮像工程と、

前記被写体の輝度を測定する測光工程と、

露出補正量を設定する露出補正工程と、

前記撮像工程により得られた画像の輝度値が目標値になるように制御する露出制御工程と、

前記撮像工程により得られた画像を予め定められた間隔で表示更新する表示工程とを有し、

前記測光工程により、前記被写体の輝度を測定する時には、前記露出補正工程により設定した露出補正の設定を解除し、前記表示工程による表示更新を停止することを特徴とする撮像装置の制御方法。

【請求項 4】

前記露出制御工程は、前記露出補正工程により設定した露出補正の設定が解除されている時に、目標値を設定し、前記撮像工程により得られた画像の輝度値が該目標値になるように制御することを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置の制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮像装置及びその制御方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、撮像装置及び撮像方法に関し、特に露出制御に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

EVF に、本撮影時の撮像素子の出力に露出制御を行った画像を表示することにより、本撮影時に得られる画像の露出状態の良し悪しを推測することが可能となる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

上述の課題を解決し目的を達成するために、本発明の撮像装置は、被写体を撮像し、撮像した画像を出力する撮像手段と、前記被写体の輝度を測定する測光手段と、露出補正量を設定する露出補正手段と、前記撮像手段により得られた画像の輝度値が目標値になるように制御する露出制御手段と、前記撮像手段により得られた画像を予め定められた間隔で表示更新する表示手段とを有し、前記測光手段により、前記被写体の輝度を測定する時には、前記露出補正手段により設定した露出補正の設定を解除し、前記表示手段による表示更新を停止することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

上述の課題を解決し目的を達成するために、本発明の撮像装置の制御方法は、被写体を

撮像し、撮像した画像を出力する撮像工程と、前記被写体の輝度を測定する測光工程と、露出補正量を設定する露出補正工程と、前記撮像工程により得られた画像の輝度値が目標値になるように制御する露出制御工程と、前記撮像工程により得られた画像を予め定められた間隔で表示更新する表示工程とを有し、前記測光工程により、前記被写体の輝度を測定する時には、前記露出補正工程により設定した露出補正の設定を解除し、前記表示工程による表示更新を停止することを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】